

令和 4 年度 病院事業決算状況

都道府県名 山口県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	県立総合医療センター	2
-	県立こころの医療センター	3
下関市	中央病院	4
下関市	豊浦病院	5
下関市	豊田中央病院	6
萩市	市民病院	7
岩国市	岩国市立錦中央病院	8
岩国市	岩国市立美和病院	9
光市	光市立光総合病院	10
光市	光市立大和総合病院	11
美祢市	市立病院	12
美祢市	美東病院	13
周南市	市民病院	14
山陽小野田市	山陽小野田市民病院	15
周防大島町	周防大島町立東和病院	16
周防大島町	周防大島町立大島病院	17

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名 山口県	
市町村・組合名			
病院名	県立総合医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,342,059	
決算規模(千円)	747,765,426	
標準財政規模(千円)	376,358,415	
財政力指数	0.42898	
経常収支比率(%)	87.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.5
	将来負担比率(%)	175.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,329			
1 経常収益	6,329			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	6,329			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,329			
2 経常費用	6,329			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	52.8
材料費	-	-	26.1	31.5
(うち薬品費)	-	-	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	13.9
減価償却費	-	-	8.7	7.7
経費	-	-	22.1	18.0
(うち委託料)	-	-	11.7	10.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	6,329			
(うち支払利息)	6,329	-	1.0	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	102.8
医業収支比率	-		85.5	90.3
修正医業収支比率	-		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		山口県	
市町村・組合名			
病院名	県立こころの医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,342,059	
決算規模(千円)	747,765,426	
標準財政規模(千円)	376,358,415	
財政力指数	0.42898	
経常収支比率(%)	87.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.5
	将来負担比率(%)	175.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	16,064			
1 経常収益	16,064			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	16,064			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	16,064			
2 経常費用	16,064			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	105.1
材料費	-	-	26.1	9.8
(うち薬品費)	-	-	14.0	6.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	1.6
減価償却費	-	-	8.7	12.8
経費	-	-	22.1	35.3
(うち委託料)	-	-	11.7	17.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	16,064			
(うち支払利息)	16,064	-	1.0	2.4
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	101.8
医業収支比率	-		85.5	61.1
修正医業収支比率	-		82.8	58.7
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	32.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	57.0
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	32.7
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	68.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名 山口県	
市町村・組合名	下関市		
病院名	中央病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	255,051
決算規模(千円)	144,925,985
標準財政規模(千円)	65,832,789
財政力指数	0.54
経常収支比率(%)	95.8
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,635			
1 経常収益	1,635			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,635			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,635			
2 経常費用	1,635			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	57.2
材料費	-	-	26.1	28.0
(うち薬品費)	-	-	14.0	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	12.7
減価償却費	-	-	8.7	8.0
経費	-	-	22.1	19.0
(うち委託料)	-	-	11.7	10.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	1,635			
(うち支払利息)	1,635	-	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	103.2
医業収支比率	-		85.5	88.6
修正医業収支比率	-		82.8	85.9
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	11.7
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	9.4
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	93.4

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	226.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		山口県	
市町村・組合名	下関市		
病院名	豊浦病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	255,051
決算規模(千円)	144,925,985
標準財政規模(千円)	65,832,789
財政力指数	0.54
経常収支比率(%)	95.8
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,026			
1 経常収益	1,836			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,836			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	1,836			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	7,190			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,754			
2 経常費用	2,754			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	63.7
材料費	-	-	26.1	21.0
(うち薬品費)	-	-	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	10.1
減価償却費	-	-	8.7	9.7
経費	-	-	22.1	28.9
(うち委託料)	-	-	11.7	13.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	2,754			
(うち支払利息)	2,754	-	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-918			
損益	6,272			
純損益	6,272			
累積欠損金	24,835			
経常収支比率	66.7		103.3	101.8
医業収支比率	-		85.5	80.8
修正医業収支比率	-		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	20.3		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	-		91.9	89.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	1,836	1,836
資本勘定繰入	9,887	9,887
計	11,723	11,723

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	226.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				山口県	
市町村・組合名		下関市			
病院名		豊田中央病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	4,773 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	60	53.2	55.7	60.5
療養	11	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	71	45.0	47.1	51.1
平均在院日数(一般病床のみ)		15.9	14.3	17.4

設立団体の状況		
人口(人)	255,051	
決算規模(千円)	144,925,985	
標準財政規模(千円)	65,832,789	
財政力指数	0.54	
経常収支比率(%)	95.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.0
	将来負担比率(%)	41.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,113,558			
1 経常収益	1,111,697			
(1) 医業収益	720,905			
(うち修正医業収益)	667,353			
入院収益	344,554			
外来収益	259,356			
診療収入計	603,910			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	116,995			
(うち他会計負担金)	53,552			
(2) 医業外収益	390,792			
(うち国・都道府県補助金)	129,183			
(うち他会計補助・負担金)	205,750			
(うち長期前受金戻入)	54,243			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,861			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,141,540			
2 経常費用	1,141,415			
(1) 医業費用	1,106,320			
職員給与費	654,096	90.7	59.4	76.5
材料費	105,826	14.7	26.1	14.9
(うち薬品費)	60,360	8.4	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	39,064	5.4	11.8	6.4
減価償却費	103,433	14.3	8.7	11.5
経費	232,587	32.3	22.1	32.6
(うち委託料)	146,623	20.3	11.7	14.8
研究研修費	7,097			
資産減耗費	3,281			
(2) 医業外費用	35,095			
(うち支払利息)	3,857	0.5	1.0	1.3
(3) 特別損失	125			
損益	-29,718			
純損益	-27,982			
累積欠損金	1,605,852			
経常収支比率	97.4		103.3	101.5
医業収支比率	65.2		85.5	73.2
修正医業収支比率	60.3		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	23.3		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	36.0		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	23.3		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	74.7		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,535,334
1 固定資産	1,337,075
(1) 有形固定資産	1,336,954
(2) 無形固定資産	121
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	198,259
(1) 現金及び預金	17,361
(2) 未収金及び未収収益	170,685
(3) 貸倒引当金()	1,263
(4) 貯蔵品	11,476
3 繰延資産	-
負債合計	1,307,968
1 固定負債	822,813
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	342,372
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	200,000
(6) 引当金	280,441
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	213,971
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	105,669
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	36,655
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	70,636
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	271,184
(1) 長期前受金	965,456
(2) 長期前受金収益化累計額()	694,272
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	227,366
1 資本金	1,849,419
2 剰余金	-1,622,053
(1) 資本剰余金	8,634
(2) 利益剰余金	-1,630,687
負債・資本合計	1,535,334
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	259,253	259,302
資本勘定繰入	48,518	48,518
計	307,771	307,820

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	226.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				山口県	
市町村・組合名		萩市			
病院名		市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,722 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	救へ輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	100	67.4	71.0	76.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	67.4	71.0	76.2
平均在院日数(一般病床のみ)		13.7	13.2	14.3

設立団体の状況		
人口(人)	44,626	
決算規模(千円)	30,592,832	
標準財政規模(千円)	17,344,258	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	93.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,733,141			
1 経常収益	2,733,141			
(1) 医業収益	2,040,824			
(うち修正医業収益)	1,958,442			
入院収益	1,236,835			
外来収益	620,712			
診療収入計	1,857,547			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	183,277			
(うち他会計負担金)	82,382			
(2) 医業外収益	692,317			
(うち国・都道府県補助金)	226,190			
(うち他会計補助・負担金)	436,385			
(うち長期前受金戻入)	4,560			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,764,501			
2 経常費用	2,764,501			
(1) 医業費用	2,631,642			
職員給与費	1,406,802	68.9	59.4	67.0
材料費	438,720	21.5	26.1	18.2
(うち薬品費)	191,563	9.4	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	246,038	12.1	11.8	9.4
減価償却費	153,061	7.5	8.7	10.2
経費	617,369	30.3	22.1	28.8
(うち委託料)	407,001	19.9	11.7	13.2
研究研修費	4,492			
資産減耗費	11,198			
(2) 医業外費用	132,859			
(うち支払利息)	33,173	1.6	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	-31,360			
純損益	-31,360			
累積欠損金	1,025,161			
経常収支比率	98.9		103.3	104.5
医業収支比率	77.5		85.5	80.1
修正医業収支比率	74.4		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	19.0		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	25.4		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	19.0		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	80.1		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,810,320
1 固定資産	2,752,343
(1) 有形固定資産	2,639,571
(2) 無形固定資産	734
(3) 投資その他の資産	112,038
2 流動資産	1,057,977
(1) 現金及び預金	513,585
(2) 未収金及び未収収益	521,886
(3) 貸倒引当金()	4,118
(4) 貯蔵品	26,624
3 繰延資産	-
負債合計	3,290,133
1 固定負債	2,548,116
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,993,325
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	554,791
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	658,047
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	320,086
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	75,220
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	261,705
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	83,970
(1) 長期前受金	254,842
(2) 長期前受金収益化累計額()	170,872
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	520,187
1 資本金	1,331,438
2 剰余金	-811,251
(1) 資本剰余金	213,910
(2) 利益剰余金	-1,025,161
負債・資本合計	3,810,320
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	518,639	518,767
資本勘定繰入	172,638	172,638
計	691,277	691,405

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	50.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				山口県	
市町村・組合名		岩国市			
病院名		岩国市立錦中央病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,974 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	8	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	53	66.0	81.2	78.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	53	66.0	81.2	78.6
平均在院日数(一般病床のみ)		37.0	37.2	32.5

設立団体の状況		
人口(人)	129,125	
決算規模(千円)	69,077,962	
標準財政規模(千円)	36,289,459	
財政力指数	0.56	
経常収支比率(%)	92.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	728,192			
1 経常収益	728,192			
(1) 医業収益	526,285			
(うち修正医業収益)	476,415			
入院収益	235,359			
外来収益	212,235			
診療収入計	447,594			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	78,691			
(うち他会計負担金)	49,870			
(2) 医業外収益	201,907			
(うち国・都道府県補助金)	3,805			
(うち他会計補助・負担金)	171,631			
(うち長期前受金戻入)	18,853			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	813,519			
2 経常費用	813,519			
(1) 医業費用	780,329			
職員給与費	412,707	78.4	59.4	76.5
材料費	151,582	28.8	26.1	14.9
(うち薬品費)	102,264	19.4	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	40,409	7.7	11.8	6.4
減価償却費	39,277	7.5	8.7	11.5
経費	176,157	33.5	22.1	32.6
(うち委託料)	83,424	15.9	11.7	14.8
研究研修費	312			
資産減耗費	294			
(2) 医業外費用	33,190			
(うち支払利息)	112	-	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損失	-85,327			
純損失	-85,327			
累積欠損金	449,067			
経常収支比率	89.5		103.3	101.5
医業収支比率	67.4		85.5	73.2
修正医業収支比率	61.1		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	30.4		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	42.1		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	30.4		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	62.3		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,845,340
1 固定資産	1,278,873
(1) 有形固定資産	1,201,162
(2) 無形固定資産	77,711
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	566,467
(1) 現金及び預金	111,371
(2) 未収金及び未収収益	450,639
(3) 貸倒引当金()	4,679
(4) 貯蔵品	9,136
3 繰延資産	-
負債合計	902,097
1 固定負債	347,943
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	331,093
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	16,022
(7) 一ス債務	828
2 流動負債	352,015
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	20,505
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	55,666
(6) リ一ス債務	1,732
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	260,119
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	202,139
(1) 長期前受金	528,523
(2) 長期前受金収益化累計額()	326,384
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	943,243
1 資本金	1,366,742
2 剰余金	-423,499
(1) 資本剰余金	349,366
(2) 利益剰余金	-772,865
負債・資本合計	1,845,340
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	221,501	221,501
資本勘定繰入	8,894	8,894
計	230,395	230,395

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	84.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				山口県	
市町村・組合名		岩国市			
病院名		岩国市立美和病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,968 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	52	37.3	19.8	35.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	52	37.3	19.8	35.2
平均在院日数(一般病床のみ)		26.6	23.3	27.9

設立団体の状況		
人口(人)	129,125	
決算規模(千円)	69,077,962	
標準財政規模(千円)	36,289,459	
財政力指数	0.56	
経常収支比率(%)	92.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	678,213			
1 経常収益	678,213			
(1) 医業収益	410,568			
(うち修正医業収益)	369,183			
入院収益	171,195			
外来収益	162,621			
診療収入計	333,816			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	76,752			
(うち他会計負担金)	41,385			
(2) 医業外収益	267,645			
(うち国・都道府県補助金)	65,079			
(うち他会計補助・負担金)	180,288			
(うち長期前受金戻入)	19,735			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	818,095			
2 経常費用	818,095			
(1) 医業費用	747,566			
職員給与費	436,017	106.2	59.4	76.5
材料費	120,309	29.3	26.1	14.9
(うち薬品費)	83,709	20.4	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	30,048	7.3	11.8	6.4
減価償却費	41,075	10.0	8.7	11.5
経費	148,318	36.1	22.1	32.6
(うち委託料)	90,645	22.1	11.7	14.8
研究研修費	1,767			
資産減耗費	80			
(2) 医業外費用	70,529			
(うち支払利息)	1,219	0.3	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常収支比率	82.9		103.3	101.5
医業収支比率	54.9		85.5	73.2
修正医業収支比率	49.4		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	32.7		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	54.0		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	32.7		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	55.8		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,845,340
1 固定資産	1,278,873
(1) 有形固定資産	1,201,162
(2) 無形固定資産	77,711
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	566,467
(1) 現金及び預金	111,371
(2) 未収金及び未収収益	450,639
(3) 貸倒引当金()	4,679
(4) 貯蔵品	9,136
3 繰延資産	-
負債合計	902,097
1 固定負債	347,943
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	331,093
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	16,022
(7) 一ス債務	828
2 流動負債	352,015
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	20,505
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	55,666
(6) リ一ス債務	1,732
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	260,119
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	202,139
(1) 長期前受金	528,523
(2) 長期前受金収益化累計額()	326,384
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	943,243
1 資本金	1,366,742
2 剰余金	-423,499
(1) 資本金剰余金	349,366
(2) 利益剰余金	-772,865
負債・資本合計	1,845,340
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	221,673	221,673
資本勘定繰入	117,748	117,748
計	339,421	339,421

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	84.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				山口県	
市町村・組合名		光市			
病院名		光市立光総合病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	17,910 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	15	指定病院の状況	救 へ 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	210	58.4	56.7	61.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	210	58.4	56.7	61.0
平均在院日数(一般病床のみ)		17.1	18.0	15.2

設立団体の状況		
人口(人)	49,798	
決算規模(千円)	23,183,022	
標準財政規模(千円)	13,260,870	
財政力指数	0.62	
経常収支比率(%)	89.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,256,353			
1 経常収益	4,255,016			
(1) 医業収益	3,562,227			
(うち修正医業収益)	3,396,250			
入院収益	2,191,209			
外来収益	1,136,986			
診療収入計	3,328,195			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	234,032			
(うち他会計負担金)	165,977			
(2) 医業外収益	692,789			
(うち国・都道府県補助金)	352,528			
(うち他会計補助・負担金)	138,126			
(うち長期前受金戻入)	148,764			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,337			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,613,800			
2 経常費用	4,595,717			
(1) 医業費用	4,404,493			
職員給与費	2,333,296	65.5	59.4	63.7
材料費	777,887	21.8	26.1	21.0
(うち薬品費)	416,092	11.7	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	361,795	10.2	11.8	10.1
減価償却費	483,559	13.6	8.7	9.7
経費	800,517	22.5	22.1	28.9
(うち委託料)	464,511	13.0	11.7	13.6
研究研修費	7,200			
資産減耗費	2,034			
(2) 医業外費用	191,224			
(うち支払利息)	35,805	1.0	1.0	1.1
(3) 特別損失	18,083			
損益	-340,701			
純損益	-357,447			
累積欠損金	104,341			
経常収支比率	92.6		103.3	101.8
医業収支比率	80.9		85.5	80.8
修正医業収支比率	77.1		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	7.1		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	8.5		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	7.1		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	86.0		91.9	89.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	16,851,146
1 固定資産	11,553,324
(1) 有形固定資産	11,029,516
(2) 無形固定資産	1,937
(3) 投資その他の資産	521,871
2 流動資産	5,297,822
(1) 現金及び預金	4,093,454
(2) 未収金及び未収収益	1,175,457
(3) 貸倒引当金()	10,349
(4) 貯蔵品	39,260
3 繰延資産	-
負債合計	10,764,438
1 固定負債	9,019,879
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,173,981
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,845,898
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	859,203
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	305,284
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	227,548
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	294,512
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	885,356
(1) 長期前受金	4,874,255
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,988,899
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	6,086,708
1 資本金	6,349,827
2 剰余金	-263,119
(1) 資本剰余金	1,538,370
(2) 利益剰余金	-1,801,489
負債・資本合計	16,851,146
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	304,103	304,103
資本勘定繰入	62,986	62,986
計	367,089	367,089

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	30.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				山口県	
市町村・組合名		光市			
病院名		光市立大和総合病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	16,464 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	18	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	40	84.1	82.1	75.8
療養	203	98.0	99.4	99.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	243	95.7	96.5	95.6
平均在院日数(一般病床のみ)		20.3	19.2	18.7

設立団体の状況		
人口(人)	49,798	
決算規模(千円)	23,183,022	
標準財政規模(千円)	13,260,870	
財政力指数	0.62	
経常収支比率(%)	89.6	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,637,306			
1 経常収益	2,635,905			
(1) 医業収益	2,405,495			
(うち修正医業収益)	2,336,664			
入院収益	2,030,604			
外来収益	161,596			
診療収入計	2,192,200			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	213,295			
(うち他会計負担金)	68,831			
(2) 医業外収益	230,410			
(うち国・都道府県補助金)	16,227			
(うち他会計補助・負担金)	95,346			
(うち長期前受金戻入)	103,226			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,401			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,463,340			
2 経常費用	2,463,159			
(1) 医業費用	2,383,107			
職員給与費	1,605,659	66.7	59.4	63.7
材料費	189,344	7.9	26.1	21.0
(うち薬品費)	84,785	3.5	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	104,559	4.3	11.8	10.1
減価償却費	184,125	7.7	8.7	9.7
経費	395,430	16.4	22.1	28.9
(うち委託料)	233,700	9.7	11.7	13.6
研究研修費	3,204			
資産減耗費	5,345			
(2) 医業外費用	80,052			
(うち支払利息)	15,926	0.7	1.0	1.1
(3) 特別損失	181			
経常損益	172,746			
純損益	173,966			
累積欠損金	1,729,048			
経常収支比率	107.0		103.3	101.8
医業収支比率	100.9		85.5	80.8
修正医業収支比率	98.1		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	6.2		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	6.8		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	6.2		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	100.3		91.9	89.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	16,851,146
1 固定資産	11,553,324
(1) 有形固定資産	11,029,516
(2) 無形固定資産	1,937
(3) 投資その他の資産	521,871
2 流動資産	5,297,822
(1) 現金及び預金	4,093,454
(2) 未収金及び未収収益	1,175,457
(3) 貸倒引当金()	10,349
(4) 貯蔵品	39,260
3 繰延資産	-
負債合計	10,764,438
1 固定負債	9,019,879
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,173,981
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,845,898
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	859,203
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	305,284
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	227,548
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	294,512
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	885,356
(1) 長期前受金	4,874,255
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,988,899
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	6,086,708
1 資本金	6,349,827
2 剰余金	-263,119
(1) 資本剰余金	1,538,370
(2) 利益剰余金	-1,801,489
負債・資本合計	16,851,146
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	160,740	164,177
資本勘定繰入	128,768	128,768
計	289,508	292,945

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	30.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				山口県	
市町村・組合名		美祢市			
病院名		市立病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	8,950 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	12	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	81	57.7	57.3	70.1
療養	45	77.0	76.2	88.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	126	64.6	64.0	76.6
平均在院日数(一般病床のみ)		23.1	25.5	28.6

設立団体の状況		
人口(人)	23,247	
決算規模(千円)	18,503,634	
標準財政規模(千円)	9,885,715	
財政力指数	0.39	
経常収支比率(%)	96.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.1
	将来負担比率(%)	44.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,554,357			
1 経常収益	2,554,357			
(1) 医業収益	1,593,422			
(うち修正医業収益)	1,485,538			
入院収益	962,700			
外来収益	439,026			
診療収入計	1,401,726			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	191,696			
(うち他会計負担金)	107,884			
(2) 医業外収益	960,935			
(うち国・都道府県補助金)	202,175			
(うち他会計補助・負担金)	285,782			
(うち長期前受金戻入)	117,763			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,647,554			
2 経常費用	2,647,554			
(1) 医業費用	2,115,243			
職員給与費	1,363,792	85.6	59.4	67.0
材料費	260,329	16.3	26.1	18.2
(うち薬品費)	146,247	9.2	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	114,082	7.2	11.8	9.4
減価償却費	175,918	11.0	8.7	10.2
経費	309,096	19.4	22.1	28.8
(うち委託料)	181,063	11.4	11.7	13.2
研究研修費	2,164			
資産減耗費	3,944			
(2) 医業外費用	532,311			
(うち支払利息)	5,615	0.4	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損	-93,197			
純損	-93,197			
累積欠損金	771,490			
経常収支比率	96.5		103.3	104.5
医業収支比率	75.3		85.5	80.1
修正医業収支比率	70.2		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	15.4		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	24.7		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	15.4		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	81.6		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,627,019
1 固定資産	4,283,241
(1) 有形固定資産	4,229,143
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	54,098
2 流動資産	1,343,778
(1) 現金及び預金	848,389
(2) 未収金及び未収収益	466,912
(3) 貸倒引当金()	353
(4) 貯蔵品	28,830
3 繰延資産	-
負債合計	5,136,422
1 固定負債	2,657,655
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,678,932
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	978,723
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	804,247
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	377,907
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	133,081
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	291,329
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,674,520
(1) 長期前受金	5,462,690
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,788,170
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	490,597
1 資本	1,161,687
2 剰余金	-671,090
(1) 資本剰余金	122,797
(2) 利益剰余金	-793,887
負債・資本合計	5,627,019
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	391,683	393,666
資本勘定繰入	65,002	121,823
計	456,685	515,489

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	29.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				山口県	
市町村・組合名		美祢市			
病院名		美東病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	6,840 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	8	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	60	66.8	66.4	78.3
療養	40	86.0	80.9	80.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	74.5	72.2	79.1
平均在院日数(一般病床のみ)		22.5	21.9	23.5

設立団体の状況		
人口(人)	23,247	
決算規模(千円)	18,503,634	
標準財政規模(千円)	9,885,715	
財政力指数	0.39	
経常収支比率(%)	96.1	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.1
	将来負担比率(%)	44.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,666,646			
1 経常収益	1,666,646			
(1) 医業収益	1,070,109			
(うち修正医業収益)	996,499			
入院収益	729,373			
外来収益	211,191			
診療収入計	940,564			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	129,545			
(うち他会計負担金)	73,610			
(2) 医業外収益	596,537			
(うち国・都道府県補助金)	229,694			
(うち他会計補助・負担金)	284,424			
(うち長期前受金戻入)	79,458			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,465,272			
2 経常費用	1,465,272			
(1) 医業費用	1,385,372			
職員給与費	914,862	85.5	59.4	67.0
材料費	121,677	11.4	26.1	18.2
(うち薬品費)	43,977	4.1	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	77,700	7.3	11.8	9.4
減価償却費	108,699	10.2	8.7	10.2
経費	235,602	22.0	22.1	28.8
(うち委託料)	133,041	12.4	11.7	13.2
研究研修費	4,020			
資産減耗費	512			
(2) 医業外費用	79,900			
(うち支払利息)	18,094	1.7	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	201,374			
純損益	201,374			
累積欠損金	22,397			
経常収支比率	113.7		103.3	104.5
医業収支比率	77.2		85.5	80.1
修正医業収支比率	71.9		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	21.5		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	33.5		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	21.5		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	89.3		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,627,019
1 固定資産	4,283,241
(1) 有形固定資産	4,229,143
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	54,098
2 流動資産	1,343,778
(1) 現金及び預金	848,389
(2) 未収金及び未収収益	466,912
(3) 貸倒引当金()	353
(4) 貯蔵品	28,830
3 繰延資産	-
負債合計	5,136,422
1 固定負債	2,657,655
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,678,932
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	978,723
(7) 一 負債	-
2 流動負債	804,247
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	377,907
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	133,081
(6) リ 一 負債	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	291,329
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,674,520
(1) 長期前受金	5,462,690
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,788,170
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	490,597
1 資本金	1,161,687
2 剰余金	-671,090
(1) 資本剰余金	122,797
(2) 利益剰余金	-793,887
負債・資本合計	5,627,019
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	357,969	358,034
資本勘定繰入	110,111	117,007
計	468,080	475,041

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	29.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				山口県	
市町村・組合名		周南市			
病院名		市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	10,935 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	7	指定病院の状況	救 輸		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(代行制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輸...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	150	61.6	63.8	72.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	61.6	63.8	72.0
平均在院日数(一般病床のみ)		16.7	15.7	14.8

設立団体の状況		
人口(人)	137,540	
決算規模(千円)	74,670,369	
標準財政規模(千円)	37,201,203	
財政力指数	0.76	
経常収支比率(%)	92.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.0
	将来負担比率(%)	66.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,197,054			
1 経常収益	3,192,552			
(1) 医業収益	2,403,878			
(うち修正医業収益)	2,340,105			
入院収益	1,393,925			
外来収益	887,058			
診療収入計	2,280,983			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	122,895			
(うち他会計負担金)	63,773			
(2) 医業外収益	788,674			
(うち国・都道府県補助金)	611,040			
(うち他会計補助・負担金)	169,195			
(うち長期前受金戻入)	5,799			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4,502			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,048,676			
2 経常費用	3,047,967			
(1) 医業費用	2,999,402			
職員給与費	15,916	0.7	59.4	67.0
材料費	-	-	26.1	18.2
(うち薬品費)	-	-	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.4
減価償却費	158,365	6.6	8.7	10.2
経費	2,818,358	117.2	22.1	28.8
(うち委託料)	-	-	11.7	13.2
研究研修費	-			
資産減耗費	6,763			
(2) 医業外費用	48,565			
(うち支払利息)	41,099	1.7	1.0	1.1
(3) 特別損失	709			
経常損益	144,585			
純損益	148,378			
累積欠損金	1,680,363			
経常収支比率	104.7		103.3	104.5
医業収支比率	80.1		85.5	80.1
修正医業収支比率	78.0		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	7.3		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	9.7		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	7.3		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	97.1		91.9	88.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,921,728
1 固定資産	3,946,162
(1) 有形固定資産	3,853,022
(2) 無形固定資産	1,600
(3) 投資その他の資産	91,540
2 流動資産	1,975,566
(1) 現金及び預金	1,417,081
(2) 未収金及び未収収益	540,221
(3) 貸倒引当金()	1,736
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,357,152
1 固定負債	1,885,097
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,885,097
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	425,280
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	340,480
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,551
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	83,249
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	46,775
(1) 長期前受金	67,469
(2) 長期前受金収益化累計額()	20,694
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,564,576
1 資本金	5,218,330
2 剰余金	-1,653,754
(1) 資本剰余金	26,609
(2) 利益剰余金	-1,680,363
負債・資本合計	5,921,728
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	232,968	232,968
資本勘定繰入	212,963	212,963
計	445,931	445,931

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	69.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		山口県	
市町村・組合名	山陽小野田市		
病院名	山陽小野田市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	17,362 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	15	指定病院の状況	救災輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	215	66.9	71.3	76.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	215	66.9	71.3	76.5
平均在院日数(一般病床のみ)		15.7	15.3	15.5

設立団体の状況	
人口(人)	60,326
決算規模(千円)	31,789,972
標準財政規模(千円)	18,818,341
財政力指数	0.56
経常収支比率(%)	95.9
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 8.9 43.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,963,291			
1 経常収益	4,962,717			
(1) 医業収益	3,846,398			
(うち修正医業収益)	3,704,924			
入院収益	2,283,070			
外来収益	1,160,131			
診療収入計	3,443,201			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	403,197			
(うち他会計負担金)	141,474			
(2) 医業外収益	1,116,319			
(うち国・都道府県補助金)	784,974			
(うち他会計補助・負担金)	171,823			
(うち長期前受金戻入)	123,846			
(うち資本費繰入収益)	18,876			
(3) 特別利益	574			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,708,919			
2 経常費用	4,708,822			
(1) 医業費用	4,507,281			
職員給与費	2,451,546	63.7	59.4	63.7
材料費	866,346	22.5	26.1	21.0
(うち薬品費)	487,853	12.7	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	377,693	9.8	11.8	10.1
減価償却費	397,272	10.3	8.7	9.7
経費	781,805	20.3	22.1	28.9
(うち委託料)	509,098	13.2	11.7	13.6
研究研修費	6,090			
資産減耗費	4,222			
(2) 医業外費用	201,541			
(うち支払利息)	44,382	1.2	1.0	1.1
(3) 特別損失	97			
損益	253,895			
純損益	254,372			
累積欠損金	2,745,894			
経常収支比率	105.4		103.3	101.8
医業収支比率	85.3		85.5	80.8
修正医業収支比率	82.2		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	6.3		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	8.1		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	6.3		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	98.7		91.9	89.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,182,482
1 固定資産	4,553,946
(1) 有形固定資産	4,357,498
(2) 無形固定資産	4,400
(3) 投資その他の資産	192,048
2 流動資産	1,628,536
(1) 現金及び預金	695,695
(2) 未収金及び未収収益	918,424
(3) 貸倒引当金()	27,543
(4) 貯蔵品	41,346
3 繰延資産	-
負債合計	6,026,923
1 固定負債	4,990,787
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,755,010
(2) その他の企業債	144,800
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,090,977
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	734,575
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	363,317
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	139,637
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	207,868
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	301,561
(1) 長期前受金	1,468,868
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,167,307
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	155,559
1 資本金	1,772,487
2 剰余金	-1,616,928
(1) 資本剰余金	1,128,966
(2) 利益剰余金	-2,745,894
負債・資本合計	6,182,482
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	313,297	313,297
資本勘定繰入	103,497	122,373
計	416,794	435,670

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	71.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				山口県	
市町村・組合名		周防大島町			
病院名		周防大島町立東和病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	10,186 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	13	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	45	30.6	46.1	56.6
療養	54	70.2	59.4	64.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	52.2	53.3	58.2
平均在院日数(一般病床のみ)		16.0	21.1	40.1

設立団体の状況		
人口(人)	14,798	
決算規模(千円)	17,082,506	
標準財政規模(千円)	8,742,722	
財政力指数	0.17	
経常収支比率(%)	67.2	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,747,716			
1 経常収益	2,742,819			
(1) 医業収益	1,038,178			
(うち修正医業収益)	911,459			
入院収益	604,821			
外来収益	267,746			
診療収入計	872,567			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	165,611			
(うち他会計負担金)	126,719			
(2) 医業外収益	1,704,641			
(うち国・都道府県補助金)	388,424			
(うち他会計補助・負担金)	685,302			
(うち長期前受金戻入)	26,952			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4,897			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,699,853			
2 経常費用	2,699,566			
(1) 医業費用	1,547,455			
職員給与費	870,711	83.9	59.4	76.5
材料費	242,005	23.3	26.1	14.9
(うち薬品費)	156,129	15.0	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	69,449	6.7	11.8	6.4
減価償却費	154,134	14.8	8.7	11.5
経費	278,858	26.9	22.1	32.6
(うち委託料)	95,017	9.2	11.7	14.8
研究研修費	1,004			
資産減耗費	743			
(2) 医業外費用	1,152,111			
(うち支払利息)	42,644	4.1	1.0	1.3
(3) 特別損失	287			
損益	43,253			
純損益	47,863			
累積欠損金	2,048,268			
経常収支比率	101.6		103.3	101.5
医業収支比率	67.1		85.5	73.2
修正医業収支比率	58.9		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	29.6		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	78.2		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	29.6		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	71.5		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,727,331
1 固定資産	11,162,477
(1) 有形固定資産	9,139,469
(2) 無形固定資産	635
(3) 投資その他の資産	2,022,373
2 流動資産	1,564,854
(1) 現金及び預金	892,635
(2) 未収金及び未収収益	643,517
(3) 貸倒引当金()	5,506
(4) 貯蔵品	30,668
3 繰延資産	-
負債合計	8,479,651
1 固定負債	5,827,020
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,145,721
(2) その他の企業債	486,112
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,195,187
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,174,851
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	648,386
(2) その他の企業債	111,996
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	166,512
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	218,316
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,477,780
(1) 長期前受金	2,414,203
(2) 長期前受金収益化累計額()	936,423
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	4,247,680
1 資本金	5,582,014
2 剰余金	-1,334,334
(1) 資本剰余金	91,624
(2) 利益剰余金	-1,425,958
負債・資本合計	12,727,331
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,000,915	812,021
資本勘定繰入	227,320	-
計	1,228,235	812,021

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	57.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				山口県	
市町村・組合名		周防大島町			
病院名		周防大島町立大島病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	10,109 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	11	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	39	76.6	78.9	76.6
療養	60	72.5	73.9	77.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	74.1	75.9	77.1
平均在院日数(一般病床のみ)		18.1	15.6	16.1

設立団体の状況		
人口(人)	14,798	
決算規模(千円)	17,082,506	
標準財政規模(千円)	8,742,722	
財政力指数	0.17	
経常収支比率(%)	67.2	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,093,264			
1 経常収益	2,090,675			
(1) 医業収益	1,439,914			
(うち修正医業収益)	1,307,224			
入院収益	746,761			
外来収益	509,842			
診療収入計	1,256,603			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	183,311			
(うち他会計負担金)	132,690			
(2) 医業外収益	650,761			
(うち国・都道府県補助金)	43,548			
(うち他会計補助・負担金)	465,958			
(うち長期前受金戻入)	30,857			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,589			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,060,099			
2 経常費用	2,060,089			
(1) 医業費用	1,774,635			
職員給与費	997,904	69.3	59.4	76.5
材料費	324,234	22.5	26.1	14.9
(うち薬品費)	221,403	15.4	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	86,199	6.0	11.8	6.4
減価償却費	122,632	8.5	8.7	11.5
経費	326,526	22.7	22.1	32.6
(うち委託料)	105,408	7.3	11.7	14.8
研究研修費	2,141			
資産減耗費	1,198			
(2) 医業外費用	285,454			
(うち支払利息)	36,465	2.5	1.0	1.3
(3) 特別損失	10			
経常損益	30,586			
純損益	33,165			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.5		103.3	101.5
医業収支比率	81.1		85.5	73.2
修正医業収支比率	73.7		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	28.6		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	41.6		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	28.6		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	72.4		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,727,331
1 固定資産	11,162,477
(1) 有形固定資産	9,139,469
(2) 無形固定資産	635
(3) 投資その他の資産	2,022,373
2 流動資産	1,564,854
(1) 現金及び預金	892,635
(2) 未収金及び未収収益	643,517
(3) 貸倒引当金()	5,506
(4) 貯蔵品	30,668
3 繰延資産	-
負債合計	8,479,651
1 固定負債	5,827,020
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,145,721
(2) その他の企業債	486,112
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,195,187
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,174,851
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	648,386
(2) その他の企業債	111,996
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	166,512
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	218,316
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,477,780
(1) 長期前受金	2,414,203
(2) 長期前受金収益化累計額()	936,423
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	4,247,680
1 資本金	5,582,014
2 剰余金	-1,334,334
(1) 資本剰余金	91,624
(2) 利益剰余金	-1,425,958
負債・資本合計	12,727,331
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	769,956	598,648
資本勘定繰入	124,192	-
計	894,148	598,648

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	57.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。